



# なに 食べもの

連載 6

イラスト 小幡彩貴

## クモくさい巨大グモ

行していた妻に見せると、彼女はぎよっとした。「なに、これ？ クモくさい！」

今まで私と一緒にの旅で、どんなゲテモノでも平気で食ってきた妻が拒否したのは後にも先にもこの巨大グモだけである。どこが「クモくさい」のかよくわからないが、「埃っぽい匂いがする」とのこと。

私は気にせず、ビニールから一つずつつまんでバリバリ食べた。たしかにちよっとカビくさい感じはするが、サクツとして、エビか小魚のかき揚げみたいである。本来ならビールを飲みたいところだが、ちよつど

この日、風邪

を引いて朝から熱があつた。ビールを飲む気がわかず、巨大グモも四匹食べた。ら胸焼けがしてきた。あとはぐつたりしてバスに揺られるのみ。

その晩、カンボジアとラオスの国境の町で、私は安宿のベッドに倒れていた。高熱のため憶えていないのだが、妻によれば、「何か食べたい。俺、今朝からクモしか食べてないんだよ……」と繰り返していたという。

妻と一緒にメコン河沿いを旅していたときだった。カンボジア中部の小さなバスターミナルで休憩していると、女の人たちが大きなざるを頭にのせて売っているのが見えた。ざるの中には体長十センチもある巨大グモの素揚げが山盛り、思わずバスをおりて呼びとめた。

アジアでは路上売りの食品の一つくらい味見しても文句を言われないので、そのタランチュラそっくりのクモをひよいとつかみ、口の中に放り込んだ。そのまま歩いて行こうとしたら、売り子のおばちゃんと周りの人がすごい形相で私を取り囲み、怒りだした。このタランチュラ、日本円で一匹十五円ほどなのだが、具だくさんのバゲットサンドが五十円で買えるこの国では決して安価なおやつではないだろう。

それは悪いことをしたと、お詫びの印に十個買い、ビニール袋に入れてもらった。バスの中に戻って、同



現地では高価品